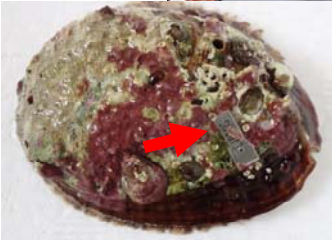




平成29年3月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

アワビの放流実験を実施



上・左とも標識(矢印)を付けたアワビ

前号でお知らせしたとおり、当場は来年度以降、建替え作業に入り、現水槽・庁舎は解体されます。そこで、幼生放流試験の親貝として飼育していたアワビを放流します。

全国各地でアワビの漁獲低迷が問題となっていますが、その要因として、資源が少なくなってしまうため、自然での再生産がうまくいっていないことが疑われています。そこで、今回の放流によって漁場のアワビ密度を高め、再生産効率が高まるかどうかを実証する研究を今後行います。

なお、放流するアワビは標識放流します。

解説：標識放流：魚や貝、エビなどに標識をつけ、海に放流し、その再捕状況から移動や成長、放流効果、資源量を推定する手法。

下田市水産・海洋学講座で講演

2月24日に下田市民文化会館で下田市教育委員会が主催する水産・海洋学講座が開催され、テーマ「下田が水揚げ日本一キンメダイ～その漁業と生態について」で講演を行いました。キンメダイの生態、資源動向、栄養成分そして最近の研究成果として種苗生産研究について説明しました。当日は下田市周辺に在住の25名の方に聴講していただき、キンメダイの資源増加のために研究成果に期待しているとの励ましの声をいただきました。



“食のワークショップ” 開催

2月6日、海鮮料理みはる（御前崎市）にて「食のワークショップ」が開催され、食の仕事人ほか県内料理人約20名に対し、水産技術研究所が利用拡大に取り組んでいる魚種の紹介や試食を行いました。会場からは、昨年より製品化に向けて取り組んでいる“伊豆産”乾燥なまこの紹介とサンプル提供を行いました。これをきっかけに、伊豆産乾燥なまこの販路開拓に繋がられればと思います。



解説：食のワークショップ：県産水産物の活用方法を県内の料理人が学び、料理の食材として使用してもらうことを目的としたイベント。

3月の予定 ●引き続き、稲取地区でテングサ場保全のために雑藻刈りを行います。 ●キンメダイ栽培漁業・蓄養研究のために、キンメダイの捕獲を行います。 ●今年の天草作柄を予測するため、潜水調査を行います。 ●8日に静岡市で静岡県キンメダイ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会が開催されます。 ●15日に下田市白浜地区を対象に磯根資源に関する研修会を行います。 ●22日に下田市寿大学で海藻について講演します。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。